

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	和こう		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11月 1日		～ 令和 6 年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11月 1日		～ 令和 6 年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2月 14日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医師や看護師、栄養士、機能訓練士、相談支援専門員など、多職種の視点によるサポートが可能であること	支援での悩みや課題について、多職種の意見も即時間くことができる環境を整えている。また定期的に機能訓練を見学に行き実践に繋げている。	各部署主催の研修会などを企画し、専門性の向上、療育のスキルアップを図る
2	小集団活動を通して、個々のニーズや成長発達段階を知り、きめの細かい療育の工夫を図っている	職員全員で活動当日のねらい・考察視点を共有し、その日の内に振り返りを行っている。活動が固定化しないよう季節や行事を適宜取り入れ、児本位の活動である事を念頭においている。(機能訓練士・看護師・栄養士など多職種も参加)	園内研修や自主研修の機会を増やす。今後、ムーブメント研修にも定期的に参加し、遊びが固定化しないよう心と体が動く、魅力的な活動(あそび)の工夫を行っていく
3	地域の軸となるよう、必要な情報・講演会や研修会の案内などを発信している	地域のこども園・幼稚園職員との研修を開催し交流を図っている 就学準備や地域の施設への移行などご家族のニーズを把握できるよう努めている	必要に応じて主となり担当者会議を開催する 地域障害者自立支援協議会などに参加し、知り得た情報は迅速に共有していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災訓練など、災害時における共同避難訓練が実施できなかった。また、ご家族への発信が不足であった	不測の事態に備え、安全確実にご家族への引き渡しができるよう訓練が必要である 園便りにて、避難訓練の様子をお伝えしたが、その他の取り組みについては、発信できていなかった	次年度、年間行事予定表にて共同訓練日をお知らせし、ご協力をお願いする 安全計画ガイドラインに基づき、ケースに合わせた行動マニュアルやフローチャートの作成を明確にしていく
2	地域のこども園・幼稚園など地域のこども達と交流する機会がもてなかった	地域のこども達と触れ合う機会がない児もおり、お互いが刺激し合う環境を整える必要がある 病院併設であるため、感染症拡大予防に努めなければならない	次年度は、一緒に水遊びや遊具を楽しむなどの具体的な企画を地域のこども園・幼稚園に打診していく
3	ご家族支援の中でも、「ごきょうだい」についての相談や支援など積極的に行っていなかった	ご家族の悩みや相談など、誰にでも話せるものではないケースもあり、「ごきょうだい」についても配慮が必要であると考え	「ごきょうだい」についての相談も遠慮なくできることを書面や、面談時に口頭でお伝えしていく